

秋田県
退職校長会

会報

題字 秋田師山書 (秋田市会員)

第 93 号

秋田市手形学園町1-1
秋田大学教育文化学部
同窓会旭水會 内

令和元年7月25日 発行

秋田県退職校長会



今こそ、教育の正常化を

五十年という歳月

秋田県退職校長会会長 佐藤 俊彦

○ 君たちは創造するためにだけ学ぶのだ。麻痺した時代において、知恵が贈り物であるという感覚を、私たちは忘れてしまっている。(ニーチエ)

現代は、情報機器や人工知能の発達によって、膨大な知識をあまりにも手軽に手に入れることができるようになり、自らの中に知恵を生み出す「学び」の重要性に対しての感度が鈍くなっている。

いわゆる「平成の学力テスト」が始まってから十二年になるが、学校現場に何か歪みが生じてはいないか心配である。前年度の学習内容を、次年度の四月に調査され、半年後に結果が出され、およそ一年後に前年度履修の欠陥について補習させられる。この繰り返しで毎年続くと、「真の学び」の保障や正常なカリキュラムの遂行はできているのだろうかと不安になる。

「昭和の学力テスト」が昭和四十一年度に終了してから、多くの県は「県独自の学力テスト」を作成して、子どもたちを長年鍛えてきたという。しかし、「平成の学力テスト」が始まったら、ある県は、五十年近く鍛えてきたにもかかわらず、下から数えた方が早いところまで落ち込んでいた。また別のある県では、追い詰められた中学生の自殺者まで出て、県議会から「行き過ぎたテスト対応」に対しての是正勧告がなされたという話を聞いた。「模擬テストで鍛える」ということは、「真の学び」とは、別の次元なのだ。

○ この瞬間を見よ。この瞬間という門から、ひとつの長い永劫の道が後るに向かって走っている。すなわち、我々の後ろには一つの永劫があるのだ。(ニーチエ)

受験学力にのみ注意を払うことは、公教育ではありえない。教育本来の目的に照らして、人間教育を目指すべきであることは、周知のことである。しかし、報道や雑誌で全国順位などが独り歩きを始めると、学校が責められるということがおきる。「昭和の学力テスト」で最下位であった秋田県は、多方面からの非難が相次いだことだろう。でも、秋田県は、学力向上のために、ある時点で、教育の正常化の道を選んだ。

「昭和の学力テスト」が終わって、それまで必死になつて学力向上に邁進し、全国最下位からの脱却を念頭に努力していたが、四十二年度に、県の方針が決まった。当時の秋田県教育長伊藤忠二氏の考え方は、「学力の向上は、教育の正常化によって達成されねばならぬ。」というものであった。「何かのために教育」ではなく、本来の教育目的に向かって努めるところにある※ と言った。全国が偏差値教育や詰め込み教育になだれ込んでいる最中に、教育の正常化を掲げたことに大きな意味がある。そして、「学校教育の指針」で、「主体的に学ぶ子供の育成」を促した。

その結果、教師の自主的な研修が活性化し、授業を大事にする教育文化が、秋田に根付いたのである。

※ 秋田県教育研究所 昭和四十二年度研究紀要「教育研究と実践の道しるべ」の序文で述べた言葉

古米があつたのでスズメに与えていた。しばらく続けてみると、どこで待っているのか戸を開けて外に出る音を聞きつけ、大急ぎで飛んでくるようになった。移動すると後についてきて、至近距離でピーピーとねだる。いつもの場所に米粒を置いて踵を返すと、すぐに舞い降りてついでに歩みを進め、

いすずめはいなかったような気がする。おそらく当時は人間とスズメの関係は今のようによくはなく、スズメを捕まえて食べた人もいたであろう。その後人間社会は豊かになり、スズメも人間を危険な存在とみなさなくてもよくなって、のびのびと行動する系統が現れたのではないだろうか。

ひとこと



秋田県退職校長会
常任理事 渡部 晟

スズメの個性

メがいる反面、あまりかわいくないのもいるのである。確かにえさには寄ってくる。しかし私が近くにいれば限り絶対に食べようとはせず、

ずつと離れるまで待っている。また家に入つて姿が見えなくなるまで待っているものもある。要するに人懐こさの程度は個体によつてさまざまなのだ。こんな小さなスズメにも明確な個性があるとは驚きだ。長く観察していると、家系によつても違うような印象も受ける。

例えば人間の世界に食糧危機がやってきて、昔のようにスズメですら食料にしなければならぬ状態になつたならば、真つ先に捕まるのは人懐こ

いすずめであろう。もし世の中のスズメがすべて人懐こかつたら、人間に食べつくされてスズメという種が絶えてしまう可能性もある。簡単には人間に捕まらない用心深いスズメがいてこそ、スズメは絶滅しないで済むのではないか。

人間の目から見れば、かわいいとかかわいくないになつてしまふが、それはスズメという野生の種の存続にとって必要な多様性なのだろう。スズメの世界もみんな違つてみんないいと云つたところか。

令和元年度新入会員の紹介 (敬称略)

〔鹿角〕

石井 和光

小林裕実子

佐藤 昭洋

〔大館北秋田〕

佐藤 洋子

佐藤 周子

庄司 弘

小笠原茂人

佐藤 正好

小林久美子

嶋田 美香

佐藤 正好

〔能代市山本郡〕

嶋田 美香

佐藤 正好

近藤 正実

石川 智也

大高 幸美

〔能代市山本郡〕

嶋田 美香

佐藤 正好

〔男鹿市〕

嶋田 美香

佐藤 正好

中田 博道

今田 喜代

小林 真人

〔潟上市・南秋田郡〕

今田 喜代

小林 真人

関谷 正人

畑澤 千景

小林 真人

〔秋田市〕

畑澤 千景

小林 真人

茜谷 英也

高橋 澄雄

佐々木 哲

大淵 正俊

佐藤 利正

佐藤 薫

〔由利本荘・にかほ〕

佐藤 利正

佐藤 薫

米持 隆司

佐藤 和広

打矢 之

佐藤 弘之

東海林秀礼

池田 博和

高野 浩

猪股 悟

猪股 和子

猪股 清子

今井 智幸

猪股 和子

〔大曲仙北〕

今井 智幸

猪股 和子

茂木 謙

小西 肇

加賀谷和宏

三浦 仁

渋谷 研

小笠原重夫

田口桂一郎

小林高太郎

照井 美久

小笠原 晃

須田 喬

田口 和典

竹村 尚人

須田 喬

田口 和典

〔横手市〕

須田 喬

田口 和典

渡部 英行

清水 勉

高橋 晋

木村 哲弥

佐々木孝雄

高橋 晋

〔湯沢雄勝〕

佐々木孝雄

高橋 晋

高橋 剛

石成 久志

菅 悟

加藤 仁

大野多加志

菅 悟

令和元年度理事会・総会開催



表記の会が五月九日(木)、協働大町ビルで開催された。

総会に先立ち、午前中には理事会が行われ、総会に提案する議案についての審議がなされた。



田大会への支援等について感謝の言葉を述べられた。

その後、小学校の教科書検定と秋田県の親世代の定着に関する二つの新聞記事を取り上げながら、学校現場の実態把握と教師の意欲

総会では、お亡くなりになられた会員へ全員で黙祷を捧げた後、初めに佐藤俊彦会長のあいさつがあった。

【佐藤俊彦会長】

本日の総会への出席並びに昨年度の東北大会秋

を高めることの大切さについて訴えた。最後に現場の先生や子どもたちが元気になる取組を県退職校長会としてやっていきたいとの決意の言葉と秋田県の教師の奮闘の歴史を探究する五十周年を期にした記念誌を作成中であることを紹介があった。

佐藤会長の挨拶に続いて三名のご来賓の方々から祝辞を頂戴した。

【秋田県教育委員会渡部克宏教育次長】

昭和く平成く令和と変化の激しい時代にあつて、子どもたちがその変化に向き合い、時代の要請に応えられるようになるための取組として大きく2点について紹介があった。



- ①ふるさと教育を柱としながら世界で活躍できるグローバル人材の育成
- 第三期ふるさと秋田元気創造プラン(2年目)の中の『ふるさとの未来を拓く人づくり戦略』について。
- AKITA英語コミュニケーションセッション能力強化事業の推進について。

《例》昨年の小学校採用試験から中学校の英語免許所有者枠を設置。今年は3名採用。

②働き方改革について

ほとんどの教員が多忙と捉えている中にあつて、昨年、タイムマネジメントの実施など、教職員が実感できる多忙化の解消に取り組んでいる。適正な勤務内容・範囲を見

定めていきたい。



【齋藤透秋田東中学校長(県中学校長会副会長立候補者)】

●現在の学校の状況について

小学校一九四校(昨年度比4校減)、中学校一一二校(昨年度比1校減)、義務教育学校一校、計三〇三校で統廃合が続いている。

●新学習指導要領への対応について

道徳の教科化など、小学校は昨年度から実施しており、順調である。中学校は今年度からの実施である。

●働き方改革について

特に中学校の部活動の取り決め(平日2時間程度、休日3時間程度の活動時間、週2日の休止日)で、幾分ゆとりも生まれてきた。

- 小中学校長会の大事業について
- 中学校・・・東北地区中秋田大会(六月)
- 小学校・・・全連小秋田大会(十月)

【県退職公務員連盟野中和郎会長】

①十四年ぶりに入会したある校長の理由について

黙つていてももらえらると思つていた年金が年五十兆円の予算の内、約6割を現職が負担していることを知って何かできないかという



思いから。
大変な苦勞の中で作られた年金制度であり、厚労省と接しているのが本会である。
②公・私立高校協議会会長として

秋田県の海外交流促進事業として実施しているタイ王国と本県教育委員会との交流。教育者同士の交流が3年続いているが、海外や世界に向かって秋田をアピールする絶好の機会と考える。退公連や退職校長会でも何かできないか。

なお、ほかに来賓として県教育協会伊藤薫会長にもご臨席いただいた。

〔議事〕

その後、秋田市の伊藤栄二常任理事を議長に選出し、次の議案について審議した。

①平成三十年度会務報告

賀詞について、近日中に各地区に配付予定であるとの説明があった。(承認)

②平成三十年度会計監査報告及び平成三十年度会計決算について

幹事会費の減やあきた教育の日の決算増についての説明があった。(承認)

③令和元年度事業、活動計画(案)について

五十周年事業とかかわって秋季研修大会についての説明があった。

「あきた教育の日」のポスター作成にかか

わって、①ポスターを掲示した現場の反応はどうか、②教育の日に貢献した人を表彰するなどのPRをする必要はないか、という2点について質問および意見が出された。

事務局より、反応は把握していないが、子どもたちの目にも触れたはずで、忘れた人も思い出すという効果はあったと思う。表彰に關しては、以前はやっていたところもあるが今はないのではないかとこの回答があった。

また、佐藤会長より、「教師の日」を創設しようとする国の動きに対して全連退では、あくまで「教育の日」制定に向けて取り組んでいることやこれまでの発足の経緯や取組状況について説明があった。(承認)

④令和元年度予算(案)について(本年度会費の確認)

本年度の会費が、県千円、全連退四百円の計千五百円としてお願いしたい旨の提案があり異議はなかった。(承認)

⑤役員について

任期改選の年ではないが、事情により役員に変更があった旨の説明があった。詳しくは7項役員一覧参照。(承認)

⑥会則の一部改正と組織について

第十条の変更と第十二条の新設(それに伴う条番号の変更)について提案があり、了承され

た。
変更、新設された条項は次のとおりである。
第十条 事務を処理するために事務局長及び事務局員をおく。事務局員は会長が委嘱する。

第十二条 会務を執行するために次の部をおく。総務部、事業部、広報部、研修部。
なお、会長が必要と認めた場合は特別委員会をおくことができる。部長は会長が委嘱する。

⑦その他

(ア)綱領制定について
佐藤磯男副会長より、3回の検討委員会を開いて検討したこと、7月の会長・事務局長合同会議でも検討したので、意見をお願いしたいとの説明があった。(決定は五十周年式典にて)

(イ)互助会運営委員推薦について
何の互助会かという質問も出たが、県教育庁福利課内にある互助会であることを確認し、委員を推薦することで承認。

| 平成30年度 特別会計決算書 | |
|------------------------|----------|
| 秋田県退職校長会 (平成31年3月31日迄) | |
| 収入 総額 | 773,050円 |
| 支出 総額 | 219,540円 |
| 差引 残額 | 553,510円 |
| 【収入内訳】 | |
| 1 前年度繰越金 | 723,042円 |
| 2 周年記念準備金 | 50,000円 |
| 3 東北大会準備金 | 0円 |
| 4 利子 | 8円 |
| 合計 | 773,050円 |
| 【支出内訳】 | |
| 1 感謝状贈呈 | |
| 5/9 筆耕料 | 5,350円 |
| 5/10 記念品代 | 20,000円 |
| 5/2 賞状筒 | 1,530円 |
| 2 教育の日ポスター作成 | |
| 8/23 賞状代 | 4,860円 |
| 8/23 ポスター増刷代 | 37,800円 |
| 3 東北大会 | |
| 1/18 東北大会経費 | 50,000円 |
| 4 50周年記念事業 | |
| 4/2 50周年記念事業経費 | 100,000円 |
| 合計 | 219,540円 |

上記の残額553,510円については、別冊「特別会計」用の通帳に、貯金保管中である。

平成30年度 会計決算書

収入総額 2,168,189円
 支出総額 2,083,659円
 差引残額 84,530円

【収入の部】

(単位：円)

| 項 目 | 本年度予算額 | 本年度決算額 | 増 減 | 付 記 |
|--------------|-----------|-----------|--------|---------------|
| 1. 負 担 金 | 2,130,000 | 2,128,500 | -1,500 | 1,500円×1,419人 |
| 2. 特 別 協 賛 金 | 0 | 0 | 0 | |
| 3. 繰 越 金 | 39,685 | 39,685 | 0 | 平成29年度より繰り越し |
| 4. 雑 収 入 | 100 | 4 | -96 | 預金利子 |
| 合 計 | 2,169,785 | 2,168,189 | -1,596 | |

【支出の部】

(単位：円)

| 項 目 | 本年度予算額 | 本年度決算額 | 比較増減 | 付 記 |
|---------------|-----------|-----------|---------|----------------------|
| 1. 会 議 費 | 245,000 | 173,802 | -71,198 | |
| (1) 総 会 費 | 100,000 | 93,102 | -6,898 | 交通費、資料等 |
| (2) 理 事 会 費 | 55,000 | 54,700 | -300 | 交通費、昼食代等 |
| (3) 監 査 会 費 | 20,000 | 15,000 | -5,000 | 会場費、交通費等 |
| (4) 幹 事 会 費 | 70,000 | 11,000 | -59,000 | 交通費補助、会議費等 |
| 2. 業 務 費 | 320,000 | 300,800 | -19,200 | |
| (1) 旅 費 | 300,000 | 300,800 | 800 | 全連退理事会、総会、他 |
| (2) 慶 弔 費 | 20,000 | 0 | -20,000 | 慶祝、弔意 |
| 3. 事 務 費 | 201,000 | 194,531 | -6,469 | |
| (1) 通 信 費 | 45,000 | 76,931 | 31,931 | 会報等送料、発送用具等 |
| (2) 消 耗 品 費 | 29,000 | 23,577 | -5,423 | 紙、封筒、インク等 |
| (3) 雑 費 | 8,000 | 0 | -8,000 | 筆耕料、謝礼、他 |
| (4) 事 務 局 費 | 44,000 | 14,023 | -29,977 | 事務局通信費、コピー、印刷費等 |
| (5) 事 務 手 当 | 75,000 | 80,000 | 5,000 | 5,000円×16人分 |
| 4. 事 業 費 | 812,000 | 830,926 | 18,926 | |
| (1) 教育懇談会費 | 80,000 | 80,000 | 0 | 4郡市へ(各20,000円) |
| (2) 秋季研修大会費 | 50,000 | 51,490 | 1,490 | 会場費、講師謝礼、資料等 |
| (3) 調 査 費 | 5,000 | 4,000 | -1,000 | 調査等に係る経費 |
| (4) 会 報 印 刷 費 | 240,000 | 213,840 | -26,160 | 会報印刷費(2回)、関係資料代等 |
| (5) 郡市連絡協議費 | 70,000 | 90,520 | 20,520 | 郡市総会、郡市研修会への派遣費 |
| (6) 郡市研修活動費 | 142,000 | 141,900 | -100 | 郡市へ100円×納入者数(1,419人) |
| (7) 「教育の日」活動費 | 90,000 | 114,264 | 24,264 | あきた教育の日関連活動費 |
| (8) 郡市会長会会議費 | 85,000 | 84,912 | -88 | 交通費、会場費、懇親会補助等 |
| (9) 記念事業準備金 | 50,000 | 50,000 | 0 | 特別会計へ(節目の年の記念紀要作成等) |
| (10) 東北大会準備金 | 0 | 0 | 0 | 特別会計へ(6年周期東北秋田大会用) |
| 5. 負 担 金 | 588,000 | 583,600 | -4,400 | 全国(400円×1,409人)、東北2万 |
| 6. 予 備 費 | 3,785 | 0 | -3,785 | |
| 合 計 | 2,169,785 | 2,083,659 | -86,126 | |

令和元年度 収支予算書

収入総額 2,184,540円
 支出総額 2,184,540円
 差引残額 0円

【収入の部】

(単位：円)

| 項 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 付 記 |
|--------------|-----------|-----------|---------|---------------|
| 1. 負 担 金 | 2,100,000 | 2,130,000 | -30,000 | 1,500円×1,400人 |
| 2. 特 別 協 賛 金 | 0 | 0 | 0 | |
| 3. 繰 越 金 | 84,530 | 39,685 | 44,845 | 平成30年度より繰り越し |
| 4. 雑 収 入 | 10 | 100 | -90 | 預金利子 |
| 合 計 | 2,184,540 | 2,169,785 | 14,755 | |

【支出の部】

(単位：円)

| 項 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 付 記 |
|---------------------|-----------|-----------|---------|----------------------|
| 1. 会 議 費 | 195,000 | 245,000 | -50,000 | |
| (1) 総 会 費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 交通費、資料等 |
| (2) 理 事 会 費 | 55,000 | 55,000 | 0 | 交通費、昼食代 |
| (3) 監 査 会 費 | 20,000 | 20,000 | 0 | 会場費、交通費等 |
| (4) 幹 事 会 費 | 20,000 | 70,000 | -50,000 | 会議費等 |
| 2. 業 務 費 | 320,000 | 320,000 | 0 | |
| (1) 旅 費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 全連退理事会、総会、他 |
| (2) 慶 弔 費 | 20,000 | 20,000 | 0 | 慶祝、弔意 |
| 3. 事 務 費 | 180,000 | 201,000 | -21,000 | |
| (1) 通 信 費 | 45,000 | 45,000 | 0 | 会報等送料、発送用具等 |
| (2) 消 耗 品 費 | 25,000 | 29,000 | -4,000 | 紙、封筒、インク等 |
| (3) 雑 費 | 15,000 | 8,000 | 7,000 | 筆耕料、謝礼、他 |
| (4) 事 務 局 費 | 15,000 | 44,000 | -29,000 | 事務局通信費、コピー、印刷費等 |
| (5) 事 務 手 当 | 80,000 | 75,000 | 5,000 | 5,000円×16人分 |
| 4. 事 業 費 | 905,000 | 812,000 | 93,000 | |
| (1) 教 育 懇 談 会 費 | 60,000 | 80,000 | -20,000 | 大北、潟・南、湯雄へ各20,000円 |
| (2) 秋 季 研 修 大 会 費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 会場費、講師謝礼、資料等 |
| (3) 調 査 費 | 5,000 | 5,000 | 0 | 調査等に係る経費 |
| (4) 会 報 印 刷 費 | 240,000 | 240,000 | 0 | 会報印刷費(2回)、関係資料代 |
| (5) 郡 市 連 絡 協 議 費 | 100,000 | 70,000 | 30,000 | 郡市総会、郡市研修会への派遣費 |
| (6) 郡 市 研 修 活 動 費 | 140,000 | 142,000 | -2,000 | 郡市へ100円×納入者数(1,400人) |
| (7) 「教育の日」活動費 | 30,000 | 90,000 | -60,000 | あきた教育の日関連活動費 |
| (8) 郡 市 会 長 会 会 議 費 | 80,000 | 85,000 | -5,000 | 交通費、会場費、懇親会補助等 |
| (9) 記 念 事 業 準 備 金 | 120,000 | 50,000 | 70,000 | 特別会計へ(節目の年の記念紀要作成等) |
| (10) 東 北 大 会 準 備 金 | 80,000 | 0 | 80,000 | 特別会計へ(6年周期東北秋田大会用) |
| 5. 負 担 金 | 580,000 | 588,000 | -8,000 | 全国(400円×1,400人)、東北2万 |
| 6. 予 備 費 | 4,540 | 3,785 | 755 | |
| 合 計 | 2,184,540 | 2,271,608 | -87,068 | |

令和元年度 秋田県退職校長会役員一覧

◆ 県 事務局所在地 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部同窓会「旭水會」内 TEL/FAX 018-831-2783

| | | |
|------|----------------------------|--------------------------------|
| 顧問 | 佐藤 重義 | 千葉 昭 |
| 会長 | 佐藤 俊彦 | |
| 副会長 | 小林 茂 | 佐藤 磯男 高橋 俊一 高橋 一郎 |
| 常任理事 | 佐藤 磯男 | 渡部 晟 伊藤 栄二 |
| 理事 | 各郡市から1名(但し、秋田市から3名) 下記のとおり | |
| 監事 | 望月 伸哉(鹿角) | 齊藤 正博(潟・南) 柿崎 清(湯雄) |
| 事務局 | 事務局長 | 長澤 公生 副事務局長 佐藤 淳 |
| | 事務局員 | 高田 均子 松田 行正 大山 重幸 三條 正弘 米澤 喜彦 |
| | 会計担当 | 阿部 英子 加賀美 俊一 平塚 和博 佐々木 哲 茜谷 英也 |

◆ 郡市 会員数合計 1,696名 (一般(会費納入)会員 1,408名) 《名誉会員 268名》

| 退職校長会名 | 会長 | 副会長 | 県理事 | 代議員 |
|----------------------------|-----------------------|------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 鹿角 会員84(74)《10》 | 石井 勲 0186-23-2363 | 吉成 博雄 | 石井 勲 | 望月 伸哉 吉田 啓一 |
| 大館北秋田 会員248(196)《47》 | 小林 茂 0186-62-9247 | 武田砂代子 仲村 吉光 小笠原友行 小林 敏明 | 小林 茂 | 武田砂代子 仲村 吉光 小笠原友行 小林 敏明 佐藤 和広 佐藤 久生 |
| 能代市山本郡 会員190(160)《20》 | 須藤 幸紀 0185-55-0843 | 佐藤 道代 工藤 誠 牧野三千雄 淡路 敦夫 | 須藤 幸紀 | 佐藤 道代 工藤 誠 牧野三千雄 淡路 敦夫 |
| 男鹿市 会員59(50)《9》 | 佐藤 磯男 0185-24-4643 | 小笠原守子 伊藤 章 | 佐藤 磯男 | 小笠原守子 伊藤 章 |
| 潟上市・南秋田郡 会員88(79)《9》 | 渡部 晟 018-873-4994 | 伊藤 薫 齊藤 正博 | 渡部 晟 | 伊藤 薫 |
| 秋田市 会員273(230)《39》 | 佐藤 俊彦 018-863-0148 | 高橋 一郎 伊藤 栄二 | 加藤豪之助 眞田 眞 濱田 眞 伊藤 栄二 伊藤 栄二 | 眞井田恭雄 羽川 誠 齊藤孝雄 三浦 雄一 林崎 勝 刈田 茂 |
| 由利本荘・にかほ 会員217(187)《29》 | 小川 征司 0184-22-3830 | 伊藤 孝紀 柴田鐵四郎 安倍武義 工藤ミネ子 櫻井 茂和 | 小川 征司 | 安倍 武義 工藤ミネ子 櫻井 茂和 小坂 晃 |
| 大曲仙北 会員213(164)《49》 | 武田 覺 0187-62-0172 | 渡邊 義實 後松順之助 千田 文和 柴田 政幸 | 武田 覺 | 渡邊 義實 後松順之助 千田 文和 小原 靖 |
| 横手市 会員200(164)《36》 | 高橋 俊一 0182-32-5395 | 佐藤 民男 古関 俊勝 | 高橋 俊一 | 西野 茂 古関 俊勝 阿部 和明 石川真須夫 吉田 聡 |
| 湯沢雄勝 会員124(104)《20》 | 佐藤 朋夫 0183-43-2264 | 岡 光 大山裕一郎 | 佐藤 朋夫 | 佐藤 朋夫 大山裕一郎 滑川 道彦 |

鹿角

郡市だより

— 郡市総会に参加して —

学び続ける姿勢

阿部 義弘

四回目の総会となりました。最初の総会では、現職時にお世話になった諸先輩の仲間入りをさせていただくことに恐縮しつつも安心感を覚えた記憶があります。校長としての責任から解放されたこともあったとは思いますが、いくつになっても先輩に頼っている「甘え」からくる安心感でもあったと思います。毎年参加して感じるのは、退職校長会の「学び続ける姿勢」です。私たちOBが、子どもたちの様子や教育施策を正しく理解していることが、現職の大きな支えになると思いますので、今後も大切にしていきたいと思っています。

心新たに...

石井 和光

四月二十五日に行われた鹿角退職校長会総会に、新会員として参加させていただきました。五月であれば、「令和」最初の会員だったのですが、「平成」最後の会員として、皆様に温かく迎えていただきました。

総会では、活動方針、事業計画等の案件が審議され、現役時代と変わらない退職校長会の雰囲気は漂っていました。

懇親会では、お世話になった諸先輩方から温かい言葉をかけていただき、職を終えた安堵感と、これからの新しい生活のスタートを実感することができました。

大館北秋田

まだまだ、これから！

小笠原 茂 人

昭和五十八年四月一日に東中学校の校門をくぐり、教職人生が始まった。そして、くしくもその東中で、多くの同僚に見送られ、三十六年間の教員生活を終えた。

ゆつくり休む間もなく、四月一日から、本務校である一中に勤務している。初任研の指導教員として月水Ⅱ一中、火Ⅱ比内中、木Ⅱ下川沿中、金Ⅱ東中と四校を渡り歩いて、六人の初任者と一緒に勉強をしている。

どこの学校でも、生徒は、元気にさわやかに挨拶してくれる。生徒から、元気をもらい、「まだまだこれから、がんばるぞ！」

総会に参加して

佐藤 周子

三月末に何とか無事に退職を迎えてから、半月、四月二十日の大館北秋田退職校長会総会に参加させていただくことができました。たくさんの先輩の皆様にご歓迎と励ましの言葉をかけていただくと、緊張の中ではありませんでしたが、どこかほっとする温かい気持ちがありました。退職までの慌ただしさでは第二の人生を考える余裕もありませんでしたが、諸先輩の皆様の円熟したそれぞれの歩みや毅然としたお姿に接し、これからの日々を目的をもって過ごしていきたいと心が引き締まる機会となりました。ありがとうございました。

能代市山本郡

総会に参加して

簾内 正子

三月で退職し、退職校長会に入会いたしました。四月二十日に総会が行われ、懐かしい諸先輩の皆様にお目にかかれるとともに、退職まで大きな支えをいただいていたことを改めて実感することができました。

当日は、迫りくる時代の変革の荒波に出会ってもゆるがない余裕ある本会の精神に触れる機会となりました。厳しく温かくこれからの学校教育の在り方を見守り、豊かな第二の人生を歩む皆様の姿勢に学ぶところの多かった時間でした。迷いの春、ほっとする思いで会場をあとにしました。

総会に参加して

伊藤 真比人

新入会員として総会に参加させていただきました。現役時代にお世話になった諸先輩方が大勢いらつしやり、新会員として身が引き締まる思いでした。

およそ教職にはふさわしい人間とは言い難い自分が、定年までなんとかその職責をまっとうできたのも諸先輩方のご指導・ご鞭撻の賜……。そんな思いを改めて噛みしめ、深謝の念を抱いた一時でもありました。そして、今後は新会員として、諸先輩方や後進のために、何かしらのお役に立ちたいという決意を新たにできた一日となりました。

男鹿市

総会に参加して

小松 一夫

令和元年の総会で、栗森貢男鹿市教育長の「新指導要領を踏まえた男鹿市教育の展望」について講演がありました。緊急な課題は少子化で、現在一、二九六名の児童・生徒の数が十五年後には約半数になるとのこと。古里が小さくなつてゆくことに寂しさを覚えます。

来賓としておいで下さいました、県退職校長会長の佐藤先生、天王中でご一緒でした。先生は大学を卒業してまもなく、私は三十年代だったかと記憶しております。先生とお会いするのは四十八年ぶりとのこと。長生きして良かったと思うとともに時の流れを感じます。

令和最初の総会に参加して

八柳 知徳

元号が令和と改まって間もない五月四日、快晴の下、男鹿市退職校長会総会が開かれた。来賓の県退職校長会長佐藤俊彦先生の「令和になつて開催される県内最初の総会です」とのご挨拶に、私の心まで晴れやかになった。

研修会では、会員でもある男鹿市教育長の栗森貢先生から「新学習指導要領を踏まえた男鹿市の教育の展望」と題して講話を頂いた。講話後の質疑応答では、次々と質問が出され、時間を超過するほどの白熱した意見交換がなされた。現役を退いてなお「教育」に情熱を傾ける諸先輩の姿に大きな刺激を受けた。

【瀧上市・南秋田郡】

新元号公表後の総会に参加して

安田 幸子

総会や研修会の充実、参加者を増やそうと様々な呼びかけが行われているが、なかなか人数の増加には至っていない。今年の研修会では聖園学園短期大学勤務の永井博敏氏から「保育養成校の今、変化する保育環境の中で」と題し、保育士の仕事の多忙化や保護者のニーズの多様化と深刻さにも言及された。中央も地方も保育士不足とはよく聞くが、今回は正にその答えに迫る部分が多く興味深い内容でした。一八歳人口の減少に伴う入学志願者の変化、短大の生き残り戦略の必要性は重い課題と受け止めました。

総会に参加して

畑澤 千景

今年から瀧上市・南秋田郡退職校長会の仲間入りをさせていただきました。凛とした先輩方を前に少々緊張しましたが、皆さんが温かく迎えてくださり嬉しく思いました。

研修会では、講師の永井博敏先生から、保育者養成における現状についてお話を伺いました。時代とともに変化する保育環境に向き合い、情熱をもって人材の創出と育成に取り組みられている永井先生。退職後も生きがいを見出し、アクティブに過ごしておられる先輩方。諸先輩の生き方や考え方に触れながら、たくさんの刺激と元気をいただきました。

【秋田市】

平成最後の総会

羽川 誠

平成二十二年度から秋田市退職校長会事務局の手伝いをしていましたが、今年から一会員として参加すると、その想いは少し違いました。

総会後の講演、NPO法人秋田パドラーズ会長船山仁氏、その活動・カヌーを通してのお話は、地球環境や災害ボランティアの本質を飾らなく語られ、とても良い時間を過ごしました。四月から五月に年号が令和に変わり、秋には秋田県退職校長会五十周年事業も控えており皆で盛り上げたいです。また、自分の小・中学校の恩師や大先輩方の顔が遠のいてしまっても残念です。

秋田市退職校長会総会に参加して

佐々木 哲

今回は新会員として総会に参加させていただきましたが、教師としてどうあるべきか悩んでいた若い頃の自分を鍛え、育てていただいた大先輩と久しぶりにお会いすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

講演では、カヌー体験や河川の環境保全をテーマに活躍されているNPO法人の「秋田パドラーズ」の船山仁氏からお話を伺うことができました。東日本大震災の直後に被災現地に赴き、献身的に活動されたこと、そして現在も熱い思いでボランティア活動を継続されていることに深い感銘を受けました。

【由利本荘・にかほ】

総会に参加して

東海林 秀礼

新入会員として総会・研修会に参加し、温かく迎えていただきました。三月には会長さんより定年退職を労うお言葉と退職校長会への入会案内のお便りをいただきました感激しました。総会では、地域の中で退職校長として役割があることを再認識しました。研修会では、国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所の方より、鳥海ダム建設の内容について概要を伺うことができました。建設地である百宅地区は矢島が出身地である私にとって是一年に何度となく訪れた身近なところでもあり、興味深く聞かせていただきました。

総会に参加して

佐藤 弘之

三月に退職し、四月二十日の由利本荘・にかほ退職校長会総会に参加させていただきました。温かく迎えていただきましたが、これまでにお世話になった皆さんの先生方と同じ場所にいることに不思議な感覚を覚えるとともに身の引き締まる思いがしました。

総会では退職校長会の歴史や大量退職時代を迎えた教育の今後の動向などについて貴重なお話を伺うことができました。「学校教育活動支援」に関わっている先輩方に学び、地域や学校のために自分ができることを見つけ、関わっていききたいと思えます。

大曲仙北

総会に参加して

加賀谷 和宏

玉穂会総会に初めて参加させてもらいました。玉穂会の活動は全くわからず、今回総会に参加したことで、様々な活動をされていることを知りました。退職後の自分の生活を考えたときに、こういった総会に参加し、これまでの諸先輩のご努力を知り、伊藤辰雄先生のように人生を謳歌している講演を聴くことは大きな刺激となりました。また、固いイメージとは違って和やかな雰囲気も感じられた会でした。この会で得たものをぜひ生かしていきたいと思えます。

ご準備等、本当にご苦労様でした。

自由仁がやってみたいこと5つ

三浦 仁

伊藤辰雄氏の百名山登山ほど立派ではありませんが、自由人になってやってみたいことを5つ考えました。(そして今の実際です。)

①偉くもないのに「髭」でもはやしてみたい。(まるでアルカイダ?!痒くなります。)

②週一ゴルフやスキーなどして「体を動かしたい」。(平日に行う喜びを感じています。)

③自宅の「整理・整頓・整備」を少しずつやりたい。(クリーンセンターに6回、4,000円分運ぶ。)

④コンサート・スポーツ観戦等の「旅」をしたい。(5月キュリオス・楽天戦、6月北海道、12月はイタリアの予定。)

⑤人から「教えてもらうこと」をしたい。(自由人の平日運転は要注意ということを女性警察官から教えてもらいました!?)

横手市

旭交会総会に参加して

古関 俊勝

五月二十三日、総会、講演会、懇親会というプログラムでしたが、元十文字中学校長の佐々木仁先生による講演会は圧巻でした。前半は若者の心に残る地域づくり、後半は全国を視野に県内の庭園文化の話。眠る価値に気づけと諭してくれました。何気ない田舎の風景を佐々木先生が「こんなに素晴らしい里山」と表現したとき、自らの「視点」こそ見直すべき課題であると自覚しました。

学制改革から教職に就き満百歳を迎えられた斎藤喜孝先生への敬意と感謝の気持ちを込めた懇親会は温かい交流の場になりました。

旭交会総会に参加して

佐々木 孝雄

この三月末に退職して、横手市退職校長会である旭交会に入会させていただきました。五月二十三日に旭交会総会があり、少し緊張しながら初めて総会に参加しました。これまでお世話になった諸先輩方の生き生きしたお姿を拝見でき、自分自身も元気が出ました。

また、総会での高橋俊一会長のご挨拶や講演会での佐々木仁先生のご講話などからいろいろと刺激を受けました。今年度は県退職校長会の五十周年記念式典もあるようですが、自分もこれから退職校長会や地域のために貢献していければと強く感じた一日でした。

湯沢雄勝

萌友会総会に参加して

石成 久志

さまざまな機会に「人生百年時代」「健康寿命」などという言葉が聞きます。現職を退き、新たな人生のスタートラインに立った今その言葉に現実味を感じております。そんな折に総会に参加させていただきましたが、とても温かく迎えていただき感激いたしました。

総会では、諸先輩のたゆまぬ努力が本会の発展を支えていることを感じましたし、懇親会では、豊かな人生を送っておられる生き方に触れさせていただきました。会員としての連帯の力をお借りしながら、会の充実と自己の生き方に生かしていきたいと思えます。

萌友会総会に参加して

高橋 剛

五月二十三日、萌友会総会に出席し、新会員として温かく迎えていただきました。そして、総会と懇親会を通じて、懐かしいお話を聞くと共に、今を生き生きと過ごしている先輩方がまぶしく感じられました。

『白秋期』という本の中に、人生を「青春」「朱夏」「白秋」「玄冬」の四区分すると書かれています。私はこれから「白秋」の時期で、ここまでの生き方をリセットし新境地で活動したいと考えています。そこから先輩方のように充実した日々を作り出していきたいという思いを強く持ちました。

コーナー
現職 & 退職 情報交流
— 主な動きから —

現職サイド①

県総会・退会会員感謝の会

五月十一日（土）、秋田市文化会館を会場に開催された。総会では議長選出の後、平成三十一・令和元年度の役員選出を行い、会長、副会長には次の各氏が選出された。

| 役職 | 氏名 | 校名 | 氏名 | 校名 |
|-----|-------|-----|-------|------|
| 会長 | 七尾 尊志 | 明德 | 石郷岡仁司 | 秋田西 |
| 副会長 | 小山 清博 | 川尻 | 齋藤 透 | 秋田東 |
| 〃 | 千葉 綾悦 | 花輪 | 野村 重公 | 能代第二 |
| 〃 | 木谷 玲子 | 新山 | 稲荷 一清 | 天王南 |
| 〃 | 近野 良浩 | 湯沢東 | 鈴木 康 | 横手南 |

なお、小・中学校校長会長には石郷岡仁司氏が選出された。

総会後には、恒例となつている退会会員感謝の会が、同会場で開催された。

退会会員の方々を囲んでこれまでのご労苦を労うとともに参加者全員がこれまでの教員生活を中心に、当時の懐かしい日々の思い出を語り合うなど、楽しい会と



なつた。

なお、今年度退職を迎えられた会員は全員で八十名であった。

現職サイド②

第六十九回東北地区中学校長会研究協議会

秋田大会

表記の会が次のような日程・概要で開催された。

日時 令和元年六月二十七日（木）、二十八日（金）

会場 秋田市文化会館

大会主題 「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」

右記大会主題のもと、一日目は開会式、全日中報告、二日目は研究協議会（分科会）、記念講演等が行われた。

記念講演演題

『秋田の偉人 石井漠と土方巽』

～無形文化遺産による

地域活性化と児童教育～

講師 石井漠・土方巽祈念 国際ダンスフェスティバル『踊る。秋田』

フエスティバル・ディレクター

山川 三太氏

現職サイド③

第七十一回全国連合小学校長会研究協議会

秋田大会

表記の会が次のような日程・概要で開催される予定である。

日時 令和元年十月十七日（木）、十八日（金）

会場 秋田県立武道館 大道場（全体会場）

秋田市山王大通り、秋田駅周辺公共施設等十三会場（分科会会場）

大会主題 「新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く、日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

副主題 ふるさとを愛し 志をもって自ら新しい社会を切り拓く子どもを育てる学校経営の推進

右記大会主題および副主題のもと、一日目は開会式、文科省講話、全体会、分科会等、二日目は全体会、シンポジウム等が行われる予定である。

シンポジウムテーマ

『自ら新しい社会を切り拓いていく子どもたちへくふるさと 志 未来創造』

シンポジスト

元株式会社東レ経営研究所社長

佐々木 常 夫氏

読売新聞特別編集委員

橋本 五郎氏

元五城目町地域おこし協力隊

丑田 香澄氏

コーディネーター 全連小調査研究部長

退職サイド①

「秋田教育の日」ポスター図案提供者へ感謝状贈呈

昨年の九月五日(水)、佐藤俊彦会長が学校を訪問。直接本人に感謝状とアルミ額縁入りポスターを贈呈しました。

図案提供者…

秋田市立大住小学校5年(贈呈時4年)

さん



佐藤会長と さん

退職サイド②

第四十七回東北地区退職校長会協議会

日時 令和元年十月十日(木)～十一日(金)

会場 青森市 ウエディングプラザ『アラスカ』

退職サイド③

結成五十周年記念式典・シンポジウム(兼)

第四十一回秋田県秋季研修大会

日時 令和元年十月十二日(土)

会場 秋田市 秋田ビューホテル

【詳細については16頁参照】

会員の寄稿

地域とのつながり



鹿角

田中 覚

今の自治会にお世話になって三十数年。

勤めていた頃は自治会活動にあまり参加してこなかった私が、退職と同時に班長の仕事を引き受けることとなった。班員の皆さんの協力もあり、なんとか班長の仕事を終えようとしていた年度末、当時の会長さんから自治会長への打診があった。

初めは不安が先になりいったん断ったが、「今まで自治会の人たちにお世話になった分何かの形でお返ししたい。」と思うようになったこと、他の役員の方々はかわらず、引き続き協力してくださいという話を聞き、会長を引き受けることにした。

今年で会長を引き受けて四年目となる。振り返ってみると、こうして会長を続けて

これているのは、役員の人たちや自治会の皆さんの協力があればこそと思う。

この冬も、積雪が多くなつた時、自治会館の除雪への協力を呼びかけたところ、多数の方々が集まってくださった。おかげさまで、作業は予定時間の半分ほどで終了することができた。終了した時は、協力してくださったことへの感謝の気持ちでいっぱいになった。

自治会の活動を通して、まず人を知り、つながりができ、住んでいる地域の人たちとの絆が深まっていることに感謝している。

(平成二十七年三月退職)

第2ステージへ



大館北秋田

菊地 俊 策

この三月に適応指導教室の勤務を卒業した。言葉を換えれば、退職第1ステージの終了である。様々な悩みをもつ子どもたちや保護者と一緒に歩んできた六年間であった。日々子どもたちの変化に一喜一憂してきた日々であったが、一緒に過ごした子どもたちが社会的に自立できたときは、大きな喜びを感じる事ができた。充実した毎日と同僚や子どもたちから元気をもらっていた。

一ヶ月の充電期間を終えて、第2ステージに踏み出した。一度・・・と想っていた「民間」での経験である。子どもがいない職場は初めてという未知の世界に踏み出して二ヶ月が過ぎた。右も左も分からない社会人一年生であり、不安もあるが二年を目標に挑戦してみたいと思っている。

数少ない趣味の中でも趣味とはいえないかもしれないが、体力の限界まで関わりたいたいと思っているのが陸上競技である。大館北秋田地区がスポ少に移行して以来、小学校大会を運営してきた。最初の小学生が高校生になり、成長する姿をたくさん見ることができ

る。本当に楽しいし、元気をもらっている。自分で作り出す元気と同じくらい、周りからもらう元気の大切さを感じた六年間でもあった。これからも大切にしていきたいと思う。

(平成二十五年三月退職)

秋田三十三観音札所巡り



能代市山本郡

松山敬悦

「観自在菩薩。行深……」で一日が始まる。退職して「敬供養」（不確かな記憶で、ずっと「経供養」と思っていた）のことを思い出し『般若心経』にチャレンジした。冒頭の「観自在菩薩」とは「観音様」のことである。

数年前、新聞で「秋田三十三観音」を目にし、興味本位で地元の「長慶寺」に足を運んでみた。裏に巡礼歌が書かれた御朱印状をいただいたことも後押しし、三十三札所巡りが始まった。参拝して秋田の場合、五種類の観音があることが分かった。一番多いのが、一面二臂の「聖観世音菩薩」である。ほかに「千手観世音菩薩」などがある。特に印象に残っているのが、「赤田の大仏」こと「長谷寺」（由利本荘市）の十一面観世音菩薩である。全身が金色にさん然と輝き、慈悲深い視線に圧倒された。

また、東北最古の仏像とか東北最古級の金銅仏はじめ、県や市指定有形文化財を保有する古刹も多い。お寺の中では著名な人が揮毫した仏間額や襖にも出会う。道中、県内唯一の国宝「線刻千手観音等鏡像」を知ることができた。（大仙市・観音堂）

都合のつく休日で晴天の日を選んでの「ぶらり旅」も令和元年五月一日、湯沢市の「向野寺」を最後に一回目の札所巡りを終えた。

（平成二十三年三月退職）

体が動く内は!!



男鹿市

桐生登志夫

定年退職後の再任用一年目に、これまでこれといった趣味もなく過ごしてきましたので、何かに挑戦してみようと思いました。いろいろ考えましたが、体が動く内にできるものにしようと思ひ、バイクでのツーリングに決めました。高校生の頃に乘っていましたので、四十数年振りのリターンライダーといったところですよ。

定年退職した人の挑戦としては少しハードかと思いましたが、少し大きなバイクに乗りたいたいと思い、早速、免許の限定解除のため自動車学校に通いました。教官がたまたま教え子ということで、親身に丁寧に指導してもらい、なんとか免許の限定を解除することができました。その後、バイクを購入しましたが、近場をちよこちよこ走る程度で、ツーリングには程遠い状態です。

バイクの運転は乗用車と異なり、かなりの緊張感を伴います。家族からは、認知症の予防になると冷やかされています。風を直接体に受けて走ることは、これまで忘れていた感覚でした。くもりや雨の日、風の強い日は乗らない日和見ライダーですが、体が動く内はしばらく続けてみようと思っています。

もう少し暖かくなったら、念願のツーリングに挑戦です。

（平成二十九年三月退職）

奥深さと繋がり



潟上市・南秋田郡

西村基子

退職後、書道以外、生活の一部となる趣味の活動はしていなかった。書道は展覧会で賞をもらうとまた頑張ろうとなるし、先生や仲間との交流も楽しく、奥が深い。このような趣味の活動をもうひとつぐらい増やしたいと思っていた時に出会ったのが、潟上市のパッチワーク講座である。

パッチワークは布の色や形、素材の組み合わせによって作品の印象が変わる。難儀して布合わせを考えても、いざ作ってみると想定していたものとは違ったり、逆に予想外の発見があったりする。妥協すると、出来上がりに後悔することも多い。ひと針ひと針の作業は、いつ完成するのかわからないほど時間がかかる。それでも完成した時は、一歩ずつ歩を進めてようやく山頂にたどり着いた時のような大きな喜びと満足感、充実感がある。継続は力なりで、最近では大きな作品にも取り組んでいる。また東京ドームの「国際キルトフェスティバル」では多彩な作品に触れ、創作への刺激をもらい、改めて奥深さを実感した。潟上市の講座終了後も、有志で月二回情報交換しながら続けている。月日を重ねる間に仲間同士の繋がりがりもでき、何気ない世間話や所作に学ぶことが多い貴重な時間となっている。今後も楽しみ、大切にしていきたい。

（平成二十三年三月退職）

コーラスを楽しみ、年金を守る。



秋田市
原田 滋

この寄稿依頼が届いたのが五月十六日(木)。退職十三年目の私は、その五日前の十一日(土)、協働大町ビルでの県退職公務員連盟今年度総会を終え、国会議員や副知事、秋田市長などのご来賓の祝辞・祝電への御礼、講演講師への御礼等、事務局長の責務に追われていた時期でした。原稿締め切りは六月十二日、どんな文章にしようかと、その後数日間考えながら過ごしていました。十七日(金)はコール飯田川、二十一日(火)は潟上市寿大学の唱歌教室、二十四日(金)午後は二田公民館でのコーラはまなす、夜は秋田市文化会館で秋田合唱団とその仲間達で楽しむハモローネAGSのコーラス練習、そして二十九日(水)は八郎潟町民合唱団を夜九時過ぎ迄のお世話。あつという間の五月でした。その後も六月四日(火)の県退公連女性・組織合同部長会の案内と会議資料作成・印刷。五日(水)には八郎潟町民合唱団、七日(金)はまたコールはまなす、八日(土)は退公連秋田支部総会等々。余裕!と思っていた日数はどんどん過ぎていきました。お解りのように、私の日々は、県退職公務員連盟事務局長、そしてコーラス団体へのお世話で過ぎていくのです。これからも、そんな日々には充実感を感じ、健康で居たい。年金受給者の皆様!会員として現役の方々の年金を是非守り続けましょう。

(平成十九年三月退職)

総合型スポーツクラブの運営



由利本荘・にかほ
柴田 鐵四郎

私はセカンドライフとして、「BSスポーツクラブにかほ」という総合型スポーツクラブを立ち上げた十年の節目を迎えました。連日、クラブ経営の企画、運営に携わっています。総合型スポーツクラブについてはご承知の方もいると思いますが、簡単に説明を加えると、「多目的」「多種目」「多世代」の要素を取り入れてスポーツ活動を行う会員制のスポーツクラブです。クラブの設立理念は、スポーツを通して地域の活性化を図ると、いうことで、現在、「健康・体力づくり」「仲間づくり」「生きがいづくり」さらには競技力向上や青少年の健全育成等の活動を行っています。活動の内容は、中・高年の方々を対象にした「健康づくり」の講話、トレッキングやウォーキング、ノルディックウォーキング等の野外活動。フレッッシュヨガ、元気づくり教室等の健康づくり教室等の定期的な活動。また、キッズ・ジュニア・ジュニアユースレベルのサッカー及びバドミントン等の一貫性指導による競技力向上を目指した事業も行っています。

特異な事業として、わらび座観劇や正月飾り創作等の文化事業も行っています。これら関係団体と連携を密にして展開し、最近では市民の皆様と深く理解され、現在ではにかほ市の生涯スポーツ振興の中心的立場として期待されています。

会員の全容は、サッカージュニアのチーム「エスベルド」が六十八名、ジュニアユースチーム「エストレージャ」が四十八名、バドミントンジュニアチーム「SYONANシャトルジュニア」が十一名の陣容に加え、中高年の方々は百六十二名で総勢二百九十六名を数えます。その数は微増ながら増え続けていますので、今後はさらに大きな所帯になるものと予想されます。

このクラブを預かる者として、今後さらなる充実・発展を目指し、日々精進しなければ、と、クラブ運営に奔走している日々です。

(平成十八年三月退職)

NBAにはまって



大曲仙北
佐藤 心一

NBA(アメリカのプロバスケットボール)に現役の頃からはまり、退職したら是非本場の試合を味わいたいと思っていました。今年の三月十五日にその願いが実現しました。ニューヨーク(NY)へのミュージカルとジャズライブ、そしてNBA観戦を目的に一人で訪米しました。NYにも球団はありませんが、観戦の値段があまりにも高額で、NYからバスで二時間のフィラデルフィア(PHI)で、サクラメント・キングス対フィラデルフィア・76ersのチケットをネットで購入しました。

NYからPHIにバスで行き午後六時に体育館に入場しました。入口では、身体検査並びに持ち物検査があり、カメラが引つかかったものの、これは簡易カメラで絶対に写さない、という約束をしてOKとなりました。

指定席に行ったらダブルブックイングが発覚し、結局、私は購入した席よりも高額な条件の良い席を得ました。試合が始まると、現地の応援は子供も含め激しく、郷土愛に満ちた応援でした。そして実際の雰囲気は映像とは異なり興奮し、私は現地人と一体化しました。

試合後、バスでニューヨークに戻りました。午後十一時過ぎに到着。車内放送で、禁酒禁煙は分かるとしても薬物禁止まで放送されたのには驚きました。お国柄だと思いました。

(平成二十九年三月退職)

ザルツブルグの友の夢



横手市 佐藤民男

大型連休が明けた去る五月九日、横手市役所に隣接する観光施設かまくら館ホールにおいて小さなコンサートが催された。「バロック音楽の愉しみ チェンバロお披露目コンサート」と題したこのコンサートを主催したのは、「ふるさとにバロック音楽をひろめ隊」である。

この団体の中心となったのが、現在、オーストリアのザルツブルグ在住でファゴット奏者である富永芳憲氏だ。私は、中学・高校で吹奏楽部の活動を通して彼と苦学を共にし、今も交流を続けている。その彼が日本の音楽大学を卒業後、単身でヨーロッパに渡り、演奏技術を磨きながら一流の演奏家になったことは、私にとっても大きな誇りであり、私の目標でもあった。

その彼が近年取り組んだ大きな夢は、ふるさと秋田の人々の生活に普通にバロック音楽があり、音楽を通して豊かで柔らかな子どもたちの感性を育むことであった。そのため彼は、県内に数台しかなく、バロック音楽に欠かせない高価なチェンバロの購入に奔走し、多くの賛同者の協力を得て、その夢を実現させたのである。

ふるさとに寄せる彼の熱き思いを強く感じた私は、このチェンバロが今後、県内の音楽活動に、そして、子どもたちの情操教育に大いに役立つてくれることを彼とともに願わずにはいられない。

(平成二十三年三月退職)

やり残した仕事があった



湯沢雄勝 大山史子

就学支援コーディネーターの職に就き、市内の幼稚園・保育園・こども園を訪ねると、発達に何らかの特徴をもつ所謂「いわゆる」一気になる子」の支援に悩む園の実態が多く見えてきた。

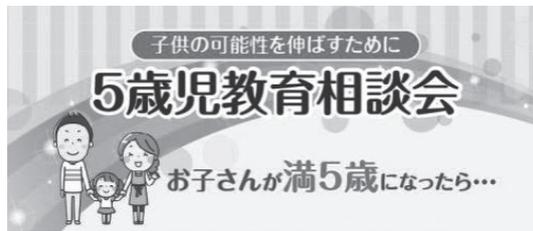
そこで、満5歳になったすべての子を対象に早期から相談が出来るよう「5歳児教育相談会」を立ち上げた。その運営等に携わり、非常勤として勤務して五年目となる。

下図はパンフレットのタイトルの部分である。現在の参加率は百パーセント。保護者の子育てや就学に関する関心の高さが何え、真摯に受け止めて対応している。

相談後は、発達の特徴に応じて園を訪問して観察を続けたり、医療・療育・福祉といった関係機関につなげたり、就学に向けて学校見学に付き添ったりと、アフターケアを大切にしている。

相談会の重要性を感じ「やり残した仕事があった」と励む日々である。

(平成二十七年三月退職)



会員のご逝去 (敬称略)

心からご冥福をお祈りいたします。

(92号以降)

| 氏名 | 年月日 | 住所 |
|-------|---------|------------|
| 根市 國夫 | 31・3・9 | 鹿角市花輪字寺ノ後 |
| 秋元 哲郎 | 31・2・11 | 北秋田市鷹巣字西上綱 |
| 岩崎 清三 | 31・2・17 | 大館市字桜町南 |
| 五十嵐 清 | 31・2・20 | 大館市板沢字屋布 |
| 成田 高 | 31・3・4 | 大館市東台一丁目 |
| 富樫 勇 | 31・3・16 | 大館市字桜町南 |
| 佐藤 忠昌 | 31・4・29 | 大館市字相染沢中袋 |
| 柴田 次郎 | 元・5・18 | 大館市字相染沢中袋 |
| 須藤 隆 | 元・5・17 | 茨城県取手市戸頭 |
| 梅田 広一 | 元・6・6 | 能代市松美町 |
| 柴田伊佐夫 | 31・4・12 | 潟上市天王字追分西 |
| 進藤 彰一 | 元・5・8 | 秋田市飯島道東 |
| 大淵 栄 | 元・5・12 | 秋田市將軍野東 |
| 伊藤 一 | 元・5・19 | 秋田市新屋栗田町 |
| 伊藤 孝志 | 元・5・21 | 由利本荘市松ヶ崎 |
| 鶴沼 盈 | 元・5・23 | 秋田市新屋勝平台 |
| 小野寺和幸 | 31・4・26 | 大仙市大曲日の出町 |
| 高橋 良三 | 元・5・29 | 大仙市神宮寺 |
| 笹山 賢耿 | 31・4・24 | 横手市大屋新町 |
| 加藤 榮子 | 元・5・24 | 湯沢市関口字堀量 |

郡市会長・事務局長合同の会開催される

— 主な協議内容から —

去る七月六日に令和になって初めてとなる「郡市会長・事務局長合同の会」が秋田市の協働大町ビルを会場に開催されました。

会議での協議の概要をお知らせいたします。

① 第41回秋季研修大会について

50周年事業のシンポジウムと兼ねる形で実施。案内は50周年の案内と一緒に発送する予定。

② あきた教育の日について

今年度はハガキで各小・中学校等へ周知する予定。なお、昨年度のポスターの残部若干あり。

③ 郡市退職校長会の問題点とその対策について

会費の徴収の工夫や新入会員の加入状況等について情報交換がなされた。

おめでとうです

(順不同・敬称略)



ついで
式典、シンポジウム等の原案について説明がなされ、その後承認される。

また、50周年記念誌の作成経緯等について高橋一郎研修委員長より説明があった。その後、資料として配布された現時点での記念誌(コピー版)についての説明があり、今後熟読の上、ご意見等をお願いする旨の依頼がなされた。

⑤ 秋田県退職校長会綱領について
佐藤磯男県副会長が原案を読み上げ、その後承認される。

秋田県退職校長会結成50周年記念事業 (兼) 第41回秋田県秋季研修大会

1 日時 令和元年10月12日(土)

〈受付開始〉

- ・ 記念式典 9時30分
- ・ シンポジウム 10時00分
- ・ 祝賀会 12時00分

2 会場 秋田ビューホテル

3 事業内容

【記念式典】 10時00分～10時30分

(1) 式辞 (2) 祝辞

《参加人数》 来賓15名 会員185名

【シンポジウム】 10時50分～12時20分

(1) テーマ

「『秋田ブランド』創造の教師たち」

(2) シンポジスト

◇ 東北大学大学院教授 博士 有本 昌弘氏

◇ 帝京平成大学現代ライフ学部 准教授 博士 山本 佐江氏

◇ 秋田市立日新小学校長 鈴木 巧氏

◇ 元秋田市立築山小学校長 濱田 眞氏

《参加人数》 最大300名

【祝賀会】 12時30分～14時30分

《参加人数》 200名

【記念出版】

記念誌

『秋田の教育 あすを見つめて』

『秋田ブランド』創造の教師たち

※当日参加者に配布

& 全会員および関係機関へ配布予定

※会場の収容人員のこともあり、人数に制限のある大会となりますが、シンポジウムは第四十一回秋季研修大会も兼ねていることから、できるだけ多くの会員の方々に参加していただければと考えております。

【お詫びと訂正】 前号(92号)15頁下段、2行目 藤原隆平氏の寄稿文の一部に誤りがありました。

次のように訂正し、お詫び申し上げます。

【誤】 賞、当地は平安時代の宮道の一つ・・・

【正】 賞、当地は平安時代の官道の一つ・・・

【あしがき】

◇ 令和最初の会報をお届けします。平成と令和が混在するこの二〇一九年度は、現職、退職校長会ともに、大きな事業があります。

概要については本会報でお知らせできたとお思います。何らかの形で貢献できればと、お祈念してまいります。

祝 叙 勲

| 氏名 | 現住所 | 功 勞 | 種 類 | 受章日 |
|-------|------------|-------|--------|---------|
| 工藤 康平 | 大館市字長倉 | 教育功勞 | 瑞宝 双光章 | 元・5・21 |
| 村井 如矢 | 秋田市八橋本町 | 高齢者叙勲 | 瑞宝 双光章 | 30・11・1 |
| 渡邊 良輔 | 由利本荘市船ヶ台 | 教育功勞 | 瑞宝 双光章 | 元・5・21 |
| 佐藤 貞一 | 仙北市角館町 | 高齢者叙勲 | 瑞宝 双光章 | 31・4・1 |
| 佐藤 文雄 | 大仙市大曲あけぼの町 | 高齢者叙勲 | 瑞宝 双光章 | 31・4・1 |
| 和田 文男 | 大仙市協和 | 教育功勞 | 瑞宝 双光章 | 元・5・21 |
| 仲山 章三 | 横手市大屋寺内 | 教育功勞 | 瑞宝 双光章 | 元・5・21 |